

# コミュニケーション支援ボード活用の手引き

## 1. コミュニケーションのバリアフリーを目指して

社会の中で私たちは、主に話し言葉によって自分の気持ちや状態を伝えながら生活しています。しかし、知的障害や聴覚障害、言語障害のある人、外国人などにとっては、その話し言葉によるコミュニケーションが困難な場合が多いのです。

そこで、話し言葉によるコミュニケーションにバリアのある人たちと周囲の人たちとの間をつなぐため、コミュニケーション支援ボードを用意し、地域のさまざまな場所に設置することで、コミュニケーションのバリアフリーを目指しています。

## 2. コミュニケーション支援ボードを使うにあたって

コミュニケーションボードを設置する際は、必ず下記の「コミュニケーションボードを設置しています」カードを、入口や受付等に掲示し、ボードによるコミュニケーション対応が可能であることを表示してください。

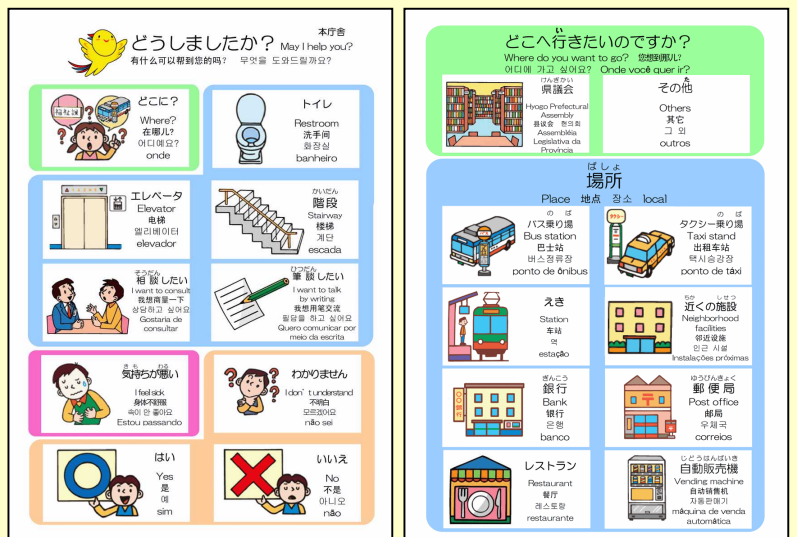
- 知的障害や聴覚障害、言語障害のある人、外国人など、話し言葉でのコミュニケーションが苦手な人たちとのコミュニケーションを助けるためのものです。
- 言葉でうまく伝え合えないとき、そのやりとりの最中にコミュニケーションボードを差し出し、その人に絵を指さししてもらいます。
- コミュニケーションボードを使うときは、多くの言葉を使うことは止め、多少ゆっくり見せて指さしできるように待ってあげてください。
- コミュニケーションボードが分からなくても、実物や写真なら分かる場合があります。
- 指さしすることが困難な人には、こちらが指さしして聞いてあげてください。
- 「ボードを使用したい」と申し出をしにくい人もいます。場合によっては、当事者の様子を見ながら、「ボードを使いましょうか？」等声をかけましょう。

### 【入口や受付に掲示】

※来庁者からよく見える位置に掲示



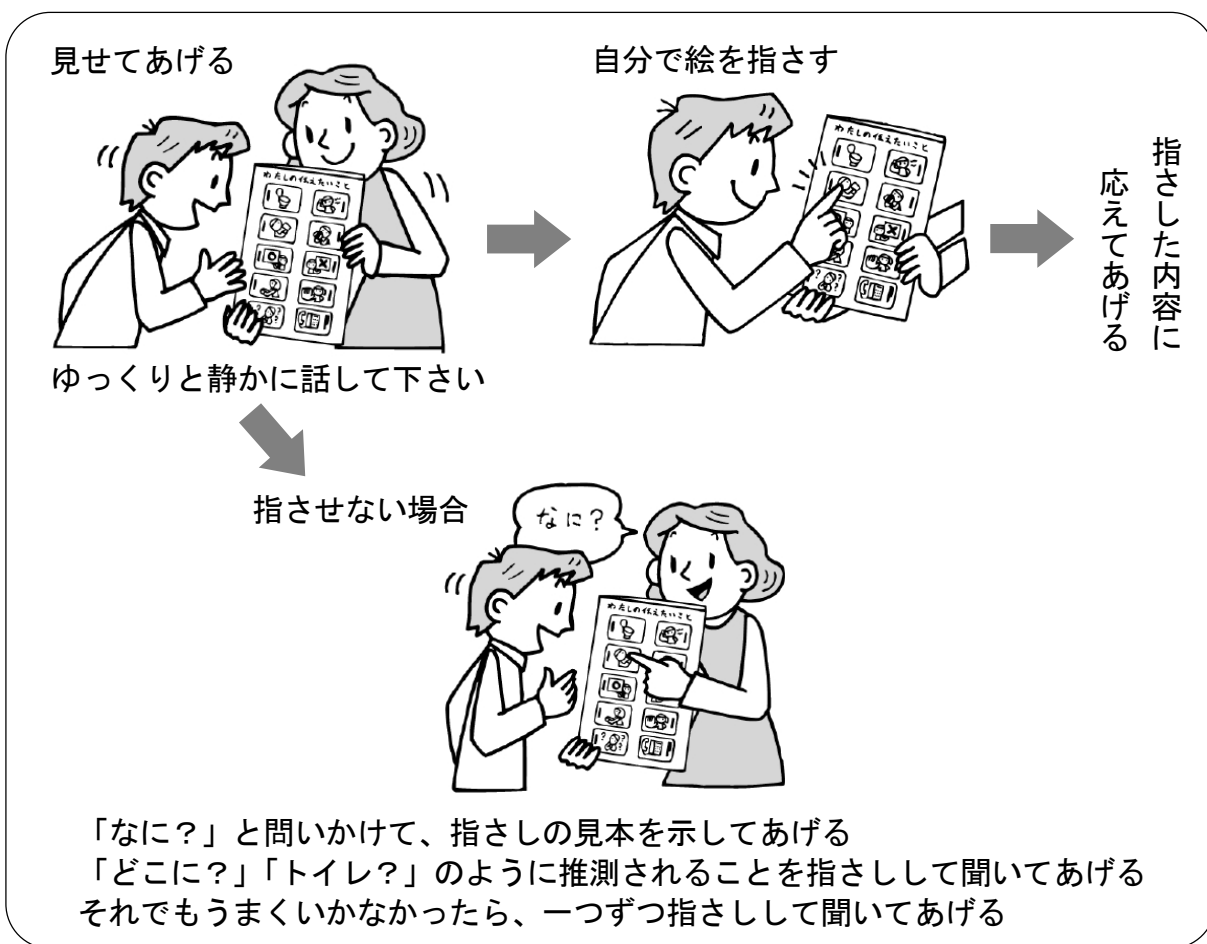
### 【裏面の使用方法を参考に、積極的に活用】



## (1) こんなとき、コミュニケーションボードの出番です



## (2) コミュニケーションボードを利用しましょう



コミュニケーションボードの1ページ目に最初に尋ねることがまとめてあります。さらに具体的なことを伝えがっているときには、2ページ目以降を見せてあげて下さい。言葉だけでなく絵によるコミュニケーションも難しいという人がいます。そんな場合には、実物を示して「どっち？」と聞いて選択してもらう方法を試してみてください。